



# 障害分野も同時に学ぶ 介護実務者養成科

## 受講生募集

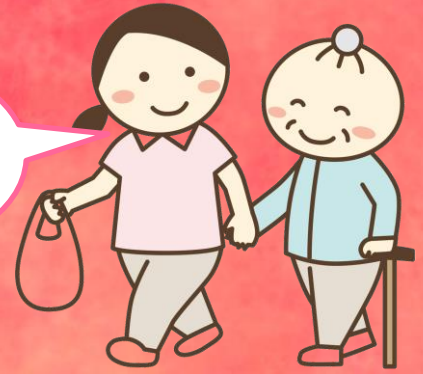
「障害分野も同時に学ぶ介護実務者養成科」では、「介護福祉士実務者研修」修了に加え、公的資格として「強度行動障害支援者養成研修」及び「同行援護従業者養成研修」も修了することで、高齢者介護及び障害に関する実践的な知識と技能を着実に習得し、利用者に安心・安全を提供できる介護職員を目指します。

また、6ヶ月間訓練に通学することで、じっくりと再就職を目指すことができます。

### 【募集概要】

訓練科名	障害分野も同時に学ぶ 介護実務者養成科	
募集期間	令和6年11月14日～令和6年12月25日	
選考日	令和7年1月7日	
選考会場	群馬社会福祉専門学校 両毛サテライトキャンパス	
選考方法	筆記試験・面接	
持ち物	筆記用具・上履き	
選考結果通知日	令和7年1月14日	
訓練期間	令和7年1月23日～令和7年7月22日	
訓練時間	9:00～16:30*（原則、土日祝休み、終了後に清掃があります。） ※訓練開始前後に朝礼・終礼があります。 ※期間中にキャリアコンサルティングを実施します。	
	*1/30,2/3,2/18,2/21,3/17,3/19,3/25,4/2,4/10,4/16,4/22,4/25,4/28,5/2,5/12,5/19,5/21,5/30,6/6,6/11,6/12,7/16 は9時～15時20分まで訓練実施 1/23は10時10分～16時30分まで訓練実施	
定員	14名	応募条件：特になし

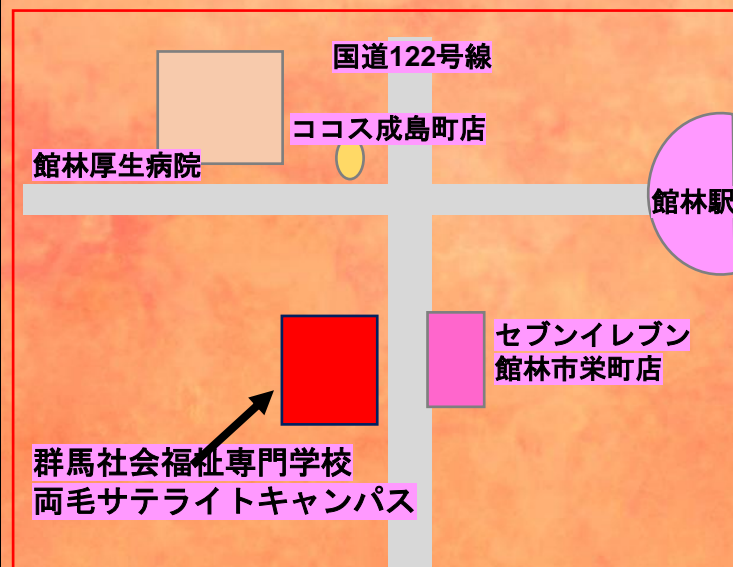
企業実習が充実した訓練コースです



### 【注意事項】

- ・求職者支援訓練の受講に関するお問い合わせ、お申込みは原則として住所地を管轄するハローワークへお願い致します。
- ・訓練コースに関する内容・説明会・見学についてのお問い合わせ及び受講申込書の提出は訓練実施施設までお願い致します。
- ・一定の条件を満たす方に「職業訓練受講給付金」が支給されます。
- ・応募状況により、訓練を中止する場合があります。
- ・「職場見学」「企業実習」があることから、特殊な事情を除き、施設側より新型コロナウイルスワクチン接種を受けていることが求められる場合があります。
- ・当校の感染症防止対策：マスク着用の協力依頼、各教室入り口に消毒液を設置、教室のこまめな換気。

### 【選考会場・訓練実施施設】



訓練実施機関

学校法人昌賢学園

訓練実施施設

群馬社会福祉専門学校

両毛サテライトキャンパス 担当：高橋 美穂子

電話 0276-60-5207 事務室対応可能時間 平日8:30～17:30

住所 館林市成島町227番地 飯塚店舗2階（無料駐車場完備）



## 【訓練目標】

訓練目標 (仕上がり像)	介護の基本から応用まで学び、利用者様に安心・安全を提供することができる。その上で強度行動障害および同行援護について理解し、適切な支援ができる。
修了後に取得できる資格	介護福祉士実務者研修・強度行動障害支援者養成研修(基礎研修・実践研修) (修了証発行は、修了時)、同行援護従業者養成研修(一般課程・応用課程)

## 【訓練内容】

科目	科目の内容	訓練時間
安全衛生	心身の健康管理・整理整頓の原則・介護職の基礎的な衛生知識	3時間
人間の尊厳と自立	尊厳の保持、自立・自律の支援、ノーマライゼーション、利用者のプライバシーの保護、権利擁護等、介護の基本的理念	5時間
社会の理解Ⅰ	介護保険制度の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職員の理解	5時間
社会の理解Ⅱ	生活と福祉、社会保障制度、障害者自立支援制度、介護実践に関する諸制度	30時間
介護の基本Ⅰ	介護福祉制度の沿革、個別ケア、ICF、介護福祉士の職業倫理、身体拘束禁止・虐待防止に関する法制度	10時間
介護の基本Ⅱ	介護を必要とする高齢者や障害者の生活の理解、ニーズや支援の課題理解、リスクの分析と事故防止、感染管理等の介護知識	20時間
コミュニケーション技術	利用者・家族の理解と相談援助の技術、利用者に応じたコミュニケーションの技法、記録・報告・会議などの情報共有	20時間
介護過程Ⅰ	介護過程の基礎的知識、介護過程の展開、介護過程とチームアプローチ	20時間
発達と老化の理解Ⅰ	老化に伴う心の変化と日常生活の影響、老化に伴うからだの変化と日常生活の影響	10時間
発達と老化の理解Ⅱ	人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多い症状・疾病と留意点	20時間
認知症の理解Ⅰ	認知症ケアの理念、認知症による生活障害、心理・行動の特徴、認知症の人との関わり・支援の基本等	10時間
認知症の理解Ⅱ	医学的側面からみた認知症の理解、認知症の人や家族への支援の実際	20時間
障害の理解Ⅰ	障害者福祉の理念、障害における生活障害、障害児者やその家族への関わり、支援の基本	10時間
障害の理解Ⅱ	医学的側面からみた障害の理解、障害児者やその家族への支援等	20時間
こころとからだのしくみⅠ	介護に関係した身体のしくみの基礎的な理解(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔)	20時間
医療的ケア【講義】	医療的ケア実施のための喀痰吸引、経管栄養、救急蘇生	50時間
実習指導	実習の導入から展開方法、実習日誌の記録方法	4時間
振り返り	企業実習修了後及び研修修了前に実施	8時間
強度行動障害支援者養成研修(基礎)	強度行動障害がある者の基礎的理解・強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎的な理解	6時間
強度行動障害支援者養成研修(実践)	強度行動障害がある者へのチーム支援・強度行動障害と生活の組み立て	4時間
同行援護従業者養成研修(一般)	障害者福祉の背景と動向、視覚障害者の理解、代筆、代読の基礎知識	12時間
同行援護従業者養成研修(応用)	障害、疾病を医学的、実践的視点でより深く理解し、視覚障害者(児)の心理に対する適切な対応方法	2時間
就職支援	社会心理学に基づいたキャリアデザイン、職務経歴書・履歴書の作成、面接指導	12時間
生活支援技術Ⅰ【演習】	生活支援とICF、ボディメカニクスの活用、介護技術の基本(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等)、環境整備、福祉用具活用等の視点	20時間
生活支援技術Ⅱ【演習】	利用者の心身に合わせた介護、福祉用具の活用、環境整備(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護)	30時間
こころとからだのしくみⅡ【演習】	人間の心理、人体の構造と機能、身体の仕組み、心理・認知機能を踏まえた介護におけるアセスメント・観察のポイント、介護・連携等の留意点(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護)	60時間
介護過程Ⅱ【演習】	利用者の状態(障害、要介護度、医療依存度、居住の場、家族の状況等)における事例、事例における介護過程の展開、観察のポイント、安全確保・事故防止、家族支援、他機関との連携考察	25時間
介護過程Ⅲ【演習】	介護過程の展開の実際、介護技術の評価	45時間
医療的ケア【演習】	喀痰吸引演習(口・鼻腔・気管カニューレ)、経管栄養(経鼻・胃ろうまたは腸ろう)、救急蘇生の演習(シミュレーターによる演習)	24時間
強度行動障害支援者養成研修(基礎【演習】)	基本的な情報収集と記録等の共有・行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解・行動障害の背景にある特性の理解	6時間
強度行動障害支援者養成研修(実践【演習】)	障害特性の理解とアセスメント・環境調整による強度行動障害の支援・記録に基づく支援の評価・機器対応と虐待防止	8時間
同行援護従業者養成研修(一般【演習】)	同行援護の基礎知識、基本的な移動支援と応用的な移動支援の技術、代筆代読の基礎知識	8時間
同行援護従業者養成研修(応用【演習】)	日常的や外出先での移動支援技術	10時間
レクリエーション特講【演習】	レクリエーションの企画・運営	3時間
企業実習	生活支援技術実習：生活サイクルの確認、利用者の確認、利用者の生活支援(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助) 介護過程Ⅱ実習：介護過程を踏まえた介護計画の確認、チームアプローチによる展開、介護計画についての考察	48時間
職場見学	高齢者施設にて1日の介護の流れ及び環境、体制などについて見学	9時間

総訓練時間数 617 時間

【受講料】 求職者支援制度における訓練は、**受講料無料**です。

## 【自己負担額】

強度行動障害支援者養成研修・同行援護従業者養成研修用テキスト	自己負担(6,160円)。実務者研修用テキストは当校が負担致します(13,890円分)。
交通費(職場見学・企業実習時)・上履き・エプロン	実費。上履き・エプロンは、授業・企業実習で使用。
インフルエンザ等予防接種	実習施設で求められた場合、実費。
同行援護従業者養成研修(応用【演習】)	「バス乗車演習」時の運賃(往復400円)、「鉄道乗車演習」時の運賃(往復320円)。

## 【訓練説明会】

要予約、当日予約可  
直接お電話ください。

0276-60-5207

11/20(水)、12/4  
(水)、12/18(水)  
13:30~その他日程は  
随時個別に対応致します